

特別出品・浅間山麓埋没村落総合調査会

20 鎌原観音堂石段下発掘遺跡頭部復元模型・パネル

本学児玉幸次名誉教授・大石慎三郎経済学部教授  
が中心になつた現在進められている「天明三年  
(一七八三)浅間山大噴火による埋没村落(鎌原  
村)の発掘調査」の成果の一部を特別に出品して  
いただきました。

史料館の開覧日は、火曜日と金曜日の午前9時30分  
から午後4時までです(ただし昼休み11:30~12:30は除く)。  
なお学外者は事前に御連絡願います。

第二回 史料展示のしおり

所蔵史料紹介

自 昭和五十七年四月八日  
至 同 四月十五日

学習院大学史料館

## 史料館とは

戦後の歴史研究は、刊本の利用からすすんで当時の生の史料（原史料）を直接に検討する段階へと入った。そのための古文書を蒐集・整理して歴史研究に供しているのが史料館である。

史料館には、現在のところ、江戸から明治時代にかけての、大名・公家文書・公家文書等が収蔵されているが、本院の沿革に鑑みて、今後とも、大名・公家文書を中心に幅広く史料を蒐集し、特徴ある研究施設としてさらに充実をはかっていると考えている。

# 所蔵史料の概略

## 一、奥州棚倉藩主阿部家文書（受託）

阿部家は、徳川譜代大名で、武州忍から奥州白河を経て、最後は奥州棚倉の藩主として明治維新を迎えた家である。宗家である備後福山の阿部家とともに、江戸時代を通じて最多の老中就任者（六人）を出した家でもある。文書数約一、八〇〇点。目録は史料館所蔵史料目録第二号「奥州棚倉藩主阿部家文書」として刊行（昭和51年度）。

## 二、内膳司濱島家文書（受贈）

ながざし内膳司の長官（奉膳ぶぜん）を勤めた家である。主上の御膳の事を掌る内膳司の長官は、古くは高橋（磐鹿六雁命いはかむつかりのみことの裔）・安曇（大浜宿禰おほはまのすくねの裔）の両氏が任じられていたが、桓武天皇の頃に安曇氏が断絶した後は、高橋一家の職となって代相伝した。なお後に家名を高橋から濱島に改めた。文書数約二七〇点。仮目録を作成してある。

## 三、武州秩父郡上名栗村町田家文書（受贈）

町田家は上名栗村（現在埼玉県秩父郡名栗村）の名主を代勤めた家である。また町田家の立地する地域は、いわゆ

る西川村の産地で、町田家は大規模な林業経営にも従事した。このため山村の構造および林業生産・流通・販売に係わる文書が大量に伝来している。林業経営に関する史料としては、おそらく日本でも屈指のものといえよう。

なお、上名栗村は慶応二年のいわゆる武州世直し一揆発端の村としても知られている。文書数約二〇〇〇点。

かつて埼玉県立図書館が一部整理を行ない四冊の目録が刊行されている。

ただし、未整理文書も相当数ある。

#### 四 信州佐久郡五郎兵衛新田村柳沢家文書（受贈）

柳沢家は近世初期の土豪開発新田（開発者上州羽沢村郷土市川五郎兵衛・寛永年間開発）として著名な五郎兵衛新田村（現在長野県北佐久郡浅科村）の名主を代々勤めた家である。現地浅科村にも大量の関連史料が現存しており、両者を合わせると、日本でも屈指の新田村文書となる。

文書数約一八〇〇点、このうち冊子の分は、史料館所蔵史料目録第一号「信州佐久郡五郎兵衛新田村柳沢家文書」(一)として刊行（昭和50年度）。

#### 五、上州甘楽郡藤木村新藤家文書（受贈）

新藤家は七日市藩領藤木村（現在群馬県富岡市）の名主を

勤めた家である。元禄十五年を初出するとする田地譲渡関係史料及び金子貸借関係史料が揃っている。文書約二〇〇点。仮目録を作成してある。

## 六、中川善之助寄贈文書（受贈）

民法、その中でも身分法（家族法）の権威者であり、かつて本学法学部長を勤められた故中川善之助先生が収集・所蔵された文書である。内容は多岐にわたるが、戦前、中川先生が精力的に調査された末手相続関係（ファミリー・諏訪地方）の史料、その他裁判・相続関係の史料が目立っている。約五〇〇点。その目録は未刊。近世史料を史料館所

蔵史料目録第三・四・五号「中川善之助寄贈文書」(上・中)  
(下)として刊行（昭和52、53、54年度）。

この他、大名家文書としては、芸州広島藩主浅野家文書の主要なもののコピーがある。約八〇〇点。

〈展示史料リスト〉

中川善之助寄贈文書

1 末子相続の諸問題の原稿・聴取ノート 年未詳

綴綴

11

親が死去したり、隠居をする場合などに、その財産・身分・家の祭祀権などを一括して、ないしその主要部分を末子が相続する慣行を末子相続といふ。中川先生は、この末子相続慣行の先駆的な研究者であつた。

2 手控（北海道開拓関係記録）伊達邦成記 明治3年 横

伊達邦成（藤五郎）は、仙台藩主一門で亘理三万石を領していた。明治2年、家臣を率いて北海

道に移住し、開拓に従事した。その時の記録がこの史料である。なお邦成は、この開拓の功により、明治25年に男爵に叙せられた。またこの開拓地は、彼の名をとつて現在伊達市となつてゐる。

3 茶立女奉公人請状之事・別紙一札・印鑑 明治3年2月 状 3

娘てるを給金三十五兩で八年十一カ月の年季の「茶立女」奉公に出る際の請状（保証書）・年季給金受取証と印鑑証である。なお「茶立女」は、しばしば売笑まがいのことをした。

濱島家文書

4 忌火御飯供進次第 元文3年

巻

1

忌火は斎火とも書き、いみび或はいむびとも読む。汚れをほらい清めた火のことで、火鑽（きり）で起

し、神に供えるものを煮たきずるのに用いる。その忌火で調理した御飯の供進の順序を記したものである。

5. 豊明節会御膳圖 とよあけのせうえ 貞享4年

巻 /

大嘗祭・新嘗祭の翌日、宮中の豊稗殿で行なわれる宴会に供した御膳の図である。その年の新穀をめしあが、天皇が、群臣にもこれをたまわるのである。

6. 饌林類纂 年未詳

縦 15

台盤から始まって、高坏・食床・机等々、主上に饌える食料・食品・器物等々について高橋等庭が編み、その孫・高橋実庭が記したものである。

阿部家文書

7. 公餘録 元和2年々慶応元年・公餘附録

縦 20

徳川譜代大名である阿部家の編年の藩政史で、事は元和2年から慶応2年に及んでいる。編者は藩士川澄五郎太夫次である。その付録が「公餘附録」で、「公餘録」編纂の際に典拠とした史料がそのまま収められていて、「公餘録」を補うものとなっている。

8. 有徳院様御判物 享保2年8月11日

状 /

將軍代替りごとに交付されるのバ、領知判物（十万石以上）である。これは享保改革で有名な八代將軍吉宗（有徳院）が正喬（忍行徳）に手之にものである。なお十万石未満は朱印状が交付される。

9. 正武叙従四位下 口宣案・位記 延宝9年4月18日

状巻 / /

阿部正武を従四位下に叙す際のもの。蔵人が天皇

の勅旨を奉つて太政官の上御に伝宣する文書と口宣と呼ぶが、口宣を書いた職事蔵人自身が作成するも一通の宋文が口宣宋である。この口宣宋の職事は松木宗顕、上卿は葉室頼孝である。

10 唐太島民俗絵巻 年未詳

巻 /

十八代正功shōkōは、維新後榎倉藩知事を勤め、明治18年には子爵となるが、民俗学・考古学に造詣が深く、その関係の貴重な史料を多数所蔵しつづいた。これもその一つで、唐(樺)太地方の風俗・自然を描いたもの。江戸時代末期の成立か。

11 天明年間浅間獄大焼の図 明治19年写

絵巻 6

日本の噴火史上でも最も著名な一つである天明3年の浅間山噴火の様子を記したものである。刻々に変わる噴火の様子を日めくり式に示してゐるのが面白い。

町田家文書

12 武蔵国秩父郡上名宗村差出明細帳 享保5年8月 縦 /

13 武蔵国秩父郡上名宗村差出明細帳 享保7年7月 縦 /

一般に「村明細帳」とよばれるもので、その名の示すように、村高・貢租・用水・普請・山林入会・家数・人口・牛馬数・寺社・農閑渡せなど、村の状況について明細に調査して役人宛差出したもの。12は代官朝比奈権左衛門宛、13は代官河原清兵衛役所宛である。

14 関家向御取締御趣意并組合村定請印帳 文政10年9月 縦 /

15 武蔵国御改革組合限地頭姓名并村名郡附帳 年未詳 横 /

江戸時代も中期を過ぎると、幕府の治安維持能力は極度に低下した。特に支配領主が入り組み、か



つ小知行主の多い關東地方の治安の乱れはひどく、博徒盜賊が横行した。この対策として幕府は、文化2年に「關東取締出役（ゆゆうり）」を文政を設けし、その法令を補強するものとして、さらに10年に全條の法令を發布するとともに、改革組合村の結成を指令したのである。その法令に對する請書が4であり、結成された組合村の構成の武蔵国分を示したものが15である。

柳沢家文書

16 用水路破損につき御普請願書 享保16年3月 状 /

17 大雨のために用水堰大破につき自普請の届書 同年5月 状 /

五郎兵衛新田村は蓼科山に源水を仰ぎ、約5里へ20キロメートルの長距離の用水路により、導水することと農業を営んでいた村である。従って、用水路の維持・修復は村の死活にかかわる重大事

であった。16は、その用水路の御普請願書であり、17は自普請をしたことの届書である。なお御普請とは、工事費用・材料などを領主が負担する方法の工事である。

新藤家文書

18 官御年貢可納割付之亭 嘉永7年10月 状 /

一般に「年貢割付状」とよばれるもの。年貢割付状とは、年ごとに納めるべき年貢量を記し、領主から村宛に発行したもので、18は七月十日藤村から藤木村宛。

高木朝教氏寄贈

19 踏絵 年未詳

切支丹改めに使用されたもの。かなり磨滅し、ソッる。